



## 大黒花のある家

あまり大きくない家の中に6畳くらいの大きな花壇がある。

その中に小さな芽が出ている。

ある日、大人の男の人が水をあげている。

ある日、小さな女の子が水をあげている。

ある日、若い女の人が水をあげている。

ある日、年配の女の人が枯れて落ちた葉を拾っている。

ある日、若い男の人が枯れかけている葉を取ろうか悩んでいる。

ある日、小さかった芽はとても大きな花を咲かせた。

家族の姿がこのようであつたらいいと思う。

住宅には日本家屋にあつた大黒柱のように家の形式として実感として求心性が必要である。

何もかも曖昧でぼんやりしたものが好まれる社会にあつて必要なことは

みんながあるものを実感として共有することではないだろうか？

同時である必要はないと思う。ただしっかりとした実感として時間を感じ取れるものが良い。

